

# 定 期 作 況 報 告

令和8年6月  
(6月20日現在)



北見農業試験場

# 1. 気象経過

1) 前年（令和7年）9月以降の経過は気象表のとおり

2) 本年（令和8年）4月以降の経過

**4月上旬：** 最高気温、最低気温、平均気温は極めて高かった。降水量は平年より少なく（平年比47%）、日照時間は平年並であった（平年比98%）。

**4月中旬：** 最高気温は高く、最低気温はやや低く、平均気温はやや高かった。降水量は平年より少なく（平年比2%）、日照時間はやや多かった（平年比127%）。

**4月下旬：** 最高気温は平年並、最低気温、平均気温はやや低かった。降水量は平年より少なく（平年比19%）、日照時間は平年並であった（平年比110%）。

**5月上旬：** 最高気温、最低気温、平均気温は平年並であった。降水量は極めて多く（平年比211%）、日照時間は平年並であった（平年比87%）。

**5月中旬：** 最高気温は平年並、最低気温、平均気温はやや低かった。降水量は少なく（平年比17%）、日照時間はやや少なかった（平年比77%）。

**5月下旬：** 最高気温は高く、最低気温、平均気温はやや高かった。降水量は少なく（平年比35%）、日照時間は平年並みであった（平年比108%）。

**6月上旬** 最高気温は高く、最低気温、平均気温はやや高かった。降水量は平年並み（平年比115%）、日照時間は平年並みであった（平年比111%）。

**6月中旬：** 最高気温は極めて高く、最低気温はやや高く、平均気温は高かった。降水量は多く（平年比180%）、日照時間はやや多かった（平年比121%）。

根雪始は平年より10日早い12月3日、根雪終は平年より5日早い3月29日で、積雪期間は平年より5日長い117日間であった。耕鋤始は平年より11日早い4月9日であった。

3) 季節表

年次	初霜	根雪始	通常の根雪終	積雪期間	降雪終	耕鋤始	晩霜
	(年. 月. 日)	(年. 月. 日)	(年. 月. 日)	(日)	(年. 月. 日)	(年. 月. 日)	(年. 月. 日)
本年	2025.10.11	2025.12.3	2026.3.29	117	2026.5.4	2026.4.9	2026.5.10
平年	10.13	12.13	4.3	112	4.27	4.20	5.12
比較	-2	-10	-5	5	7	-11	-2

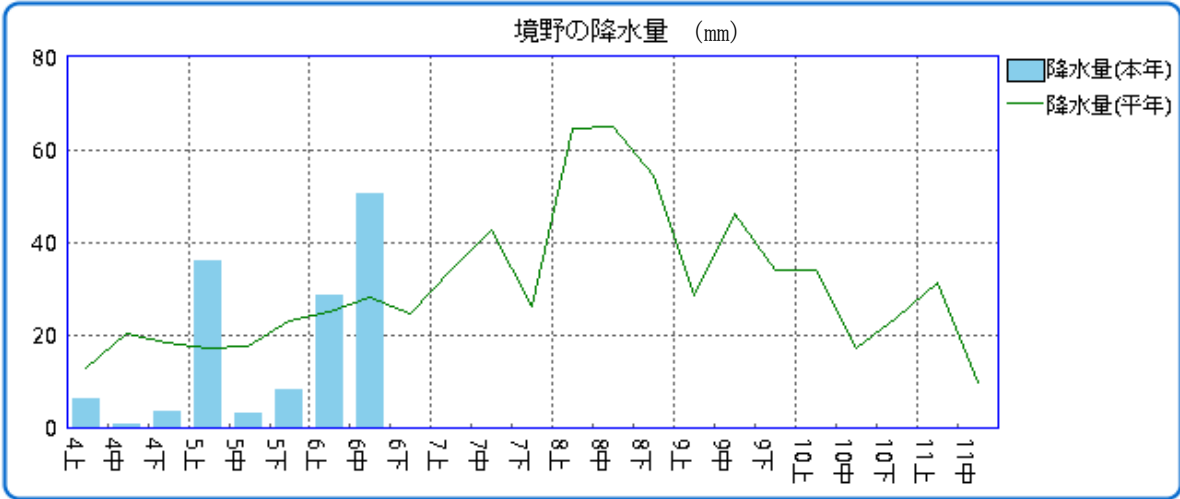
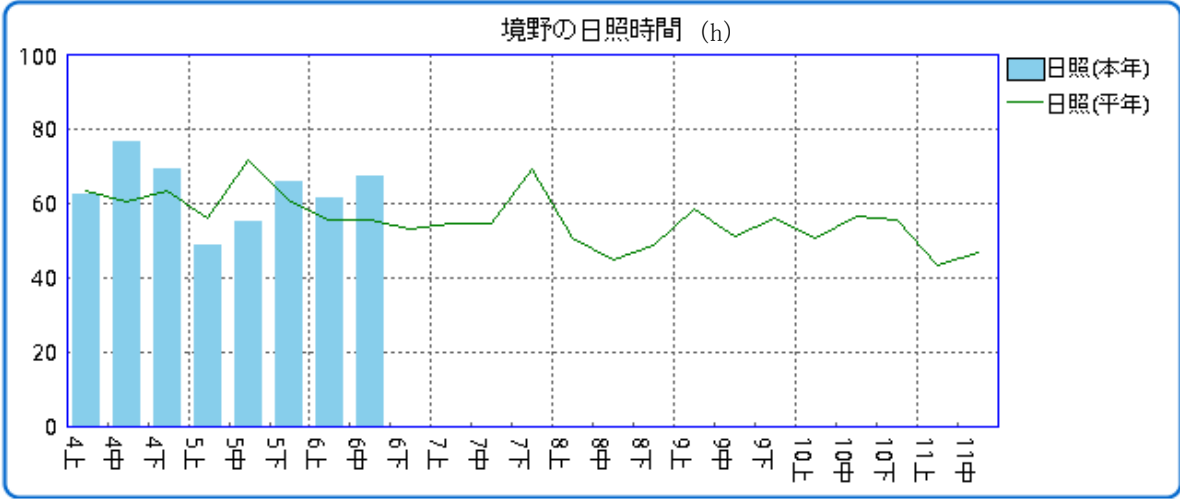
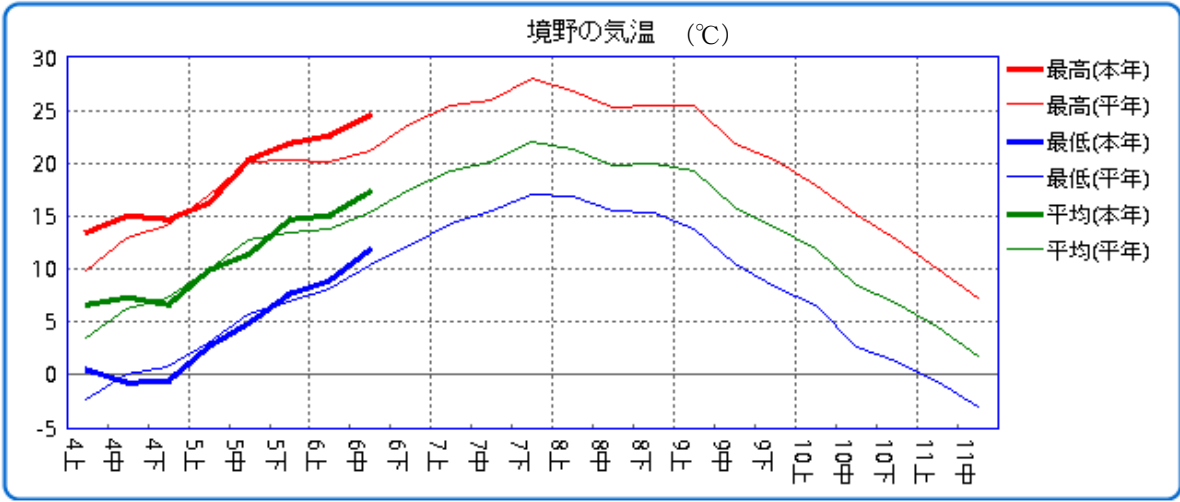
注）観測は北見農試（訓子府町弥生）で行い、平年値は前10か年の平均値である。

4) 気象表

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
		本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較	本年	10年平均	比較
2025年	9月 上旬	19.8	18.8	1.0	25.7	25.0	0.7	14.8	13.5	1.3	55.5	26.7	28.8	50.3	57.5	-7.2
	中旬	16.5	15.6	0.9	24.2	21.5	2.7	10.4	10.4	0.0	73.0	44.5	28.5	65.8	49.1	16.7
	下旬	14.5	13.8	0.7	21.3	20.3	1.0	9.1	8.1	1.0	56.5	29.7	26.8	70.0	56.0	14.0
10月	上旬	12.8	11.7	1.1	19.5	17.6	1.9	6.9	6.4	0.5	1.5	39.6	-38.1	66.9	51.0	15.9
	中旬	7.5	8.5	-1.0	13.3	15.5	-2.2	2.0	2.5	-0.5	1.0	17.1	-16.1	35.7	60.0	-24.3
	下旬	4.3	6.7	-2.4	10.7	12.9	-2.2	-0.8	1.2	-2.0	23.0	21.8	1.2	47.1	57.7	-10.6
11月	上旬	3.3	4.5	-1.2	8.5	10.1	-1.6	-1.0	-0.8	-0.2	72.0	25.7	46.3	45.3	42.8	2.5
	中旬	0.6	2.0	-1.4	5.9	7.5	-1.6	-4.1	-2.7	-1.4	8.0	10.9	-2.9	51.0	45.8	5.2
	下旬	2.1	-1.1	3.2	7.5	4.0	3.5	-2.1	-6.0	3.9	9.0	13.6	-4.6	48.3	46.0	2.3
12月	上旬	-2.8	-3.7	0.9	2.5	2.2	0.3	-9.0	-9.5	0.5	17.5	10.7	6.8	47.2	51.2	-4.0
	中旬	-7.5	-6.2	-1.3	-1.0	-0.4	-0.6	-14.6	-11.7	-2.9	60.5	5.1	55.4	43.6	46.7	-3.1
	下旬	-4.4	-7.5	3.1	-0.1	-1.8	1.7	-11.0	-13.2	2.2	15.5	17.4	-1.9	29.8	48.1	-18.3
2026年	1月 上旬	-10.4	-8.7	-1.7	-2.5	-2.6	0.1	-17.2	-15.1	-2.1	1.5	4.2	-2.7	50.2	47.3	2.9
	中旬	-7.8	-8.5	0.7	-2.3	-2.6	0.3	-14.1	-14.6	0.5	4.5	13.0	-8.5	54.7	47.1	7.6
	下旬	-10.8	-8.7	-2.1	-3.9	-3.2	-0.7	-16.3	-14.9	-1.4	0.0	11.6	-11.6	61.1	44.3	16.8
2月	上旬	-9.2	-10.1	0.9	-2.0	-3.6	1.6	-15.4	-17.1	1.7	0.5	6.1	-5.6	55.6	49.0	6.6
	中旬	-5.8	-6.6	0.8	-0.3	-0.6	0.3	-13.9	-13.5	-0.4	4.0	10.2	-6.2	40.0	45.3	-5.3
	下旬	-0.7	-7.3	6.6	4.8	-0.7	5.5	-6.9	-14.8	7.9	10.5	6.2	4.3	42.7	49.5	-6.8
3月	上旬	-1.5	-4.0	2.5	1.7	1.9	-0.2	-4.8	-10.8	6.0	18.0	20.5	-2.5	27.4	55.2	-27.8
	中旬	-0.2	-1.0	0.8	3.7	4.1	-0.4	-4.0	-6.9	2.9	1.5	9.9	-8.4	35.6	50.4	-14.8
	下旬	3.1	1.2	1.9	9.6	7.0	2.6	-3.2	-4.5	1.3	1.0	8.7	-7.7	84.0	71.8	12.2

4月	上旬	6.6	3.5	3.1	13.5	9.8	3.7	0.5	-2.3	2.8	6.0	12.7	-6.7	62.4	63.4	-1.0
	中旬	7.3	6.2	1.1	15.1	13.0	2.1	-0.7	0.1	-0.8	0.5	20.2	-19.7	76.6	60.5	16.1
	下旬	6.6	7.3	-0.7	14.7	14.2	0.5	-0.5	0.8	-1.3	3.5	18.2	-14.7	69.4	63.3	6.1
5月	上旬	9.9	9.8	0.1	16.3	16.8	-0.5	2.6	3.0	-0.4	36.0	17.1	18.9	48.9	56.1	-7.2
	中旬	11.5	12.8	-1.3	20.4	20.1	0.3	4.9	5.8	-0.9	3.0	17.4	-14.4	55.4	71.9	-16.5
	下旬	14.7	13.4	1.3	21.9	20.3	1.6	7.7	6.9	0.8	8.0	22.9	-14.9	66.0	61.2	4.8
6月	上旬	15.1	13.8	1.3	22.5	20.1	2.4	8.9	8.1	0.8	28.5	24.8	3.7	61.8	55.7	6.1
	中旬	17.2	15.4	1.8	24.5	21.1	3.4	11.7	10.3	1.4	50.5	28.1	22.4	67.5	55.8	11.7

注) 観測値は置戸町境野のアメダスによる(てん蔵の定期作況気象情報)。10年平均は前10か年の平均値である。



秋まき小麦（令和7年9月播種）

## 2. 当場の作況

注）本作況報告は北海道立総合研究機構北見農業試験場の平年値に対する生育良否に基づいたものであり、網走管内全体を代表するものではありません。

1) 秋まき小麦（令和7年9月播種） 作況：不良

月	作況	事由
令和7年 11月20日	不良	9月の降水量が平年よりも多かったため、圃場作業が遅れ、播種期は平年より11日遅い10月1日であった。出芽期は平年より11日遅い10月8日であった。出芽期以降、平均気温が10月中旬は平年よりやや低く、10月下旬は低く経過したこと、播種期が遅くなったことにより、越冬前の草丈は平年より低く、茎数は平年より少なかった。 以上のことから、目下の作況は「不良」である。
令和8年 5月20日	不良	根雪始は平年より10日早い12月3日、根雪終は平年より5日早い3月29日で、根雪期間は平年より5日長かった。作況の調査圃場は融雪剤を散布したため、融雪期は3月20日であった。雪腐病の発生は僅かに認められた。融雪後の平均気温が平年に比べ4月下旬、5月中旬がやや低く経過し、草丈は平年並、茎数は少なかった。 以上のことから、目下の作況は「不良」である。
6月20日	不良	5月下旬～6月上旬の平均気温が高く、生育が進んだことから、出穂期は平年より5日早い6月2日であった。茎数は平年より少なく、草丈は低かった。 以上のことから、目下の作況は「不良」である。

生育データ

品種名		きたほなみ		
項目／年次		本年	平年	比較
播種期	(令和7年月.日)	10.01	9.20	11
出芽期	(令和7年月.日)	10.08	9.27	11
出穂期	(令和8年月.日)	6.02	6.07	△ 5
成熟期	(令和8年月.日)		7.19	
草丈 (cm)	(令和7年11月20日)	12.0	17.9	△ 5.9
	(令和8年5月20日)	40.9	39.3	1.6
	(令和8年6月20日)	71.3	79.1	△ 7.8
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	(令和7年11月20日)	353	1455	△ 1102
	(令和8年5月20日)	855	1748	△ 893
	(令和8年6月20日)	600	879	△ 279
成熟期	稈長 (cm)		77	
	穂長 (cm)		8.0	
	穂数 (本/m <sup>2</sup> )		784	
子実重 (kg/10a)			681	
同上平年比 (%)			100	
ブラウエル容積重 (g/L)			816	
千粒重 (g)			36.9	
品質 (検査等級)			1	

注）平年値は前7か年中、令和元年（最豊）、令和4年（最凶）を除く5か年の平均。

3) 春まき小麦 作況：やや不良

月	作況	事由
5月20日	平年並	調査圃場は融雪剤散布により3月23日に融雪期となった。4月上中旬の降水量は平年よりも少なかったため土壌の乾燥が早く、播種期は平年より2日早かった。播種が早く、4月中旬の平均気温が高いことから出芽期は平年より4日早かったものの、4月下旬、5月下旬の平均気温がやや低かったため、草丈は低かった。茎数は平年並であった。 以上のことから、目下の作況は「平年並」である。
6月20日	やや不良	5月下旬～6月上旬の平均気温が高く生育が進み、出穂期は2日早い6月17日で、茎数は淘汰が進みやや少なかった。草丈は平年並であった。 以上のことから、目下の作況は「やや不良」である。

作況データ

調査項目	春よ恋			
	本年	平年	比較	
播種期 (月.日)	4.15	4.17	△ 2	
出芽期 (月.日)	4.26	4.30	△ 4	
出穂期 (月.日)	6.17	6.19	△ 2	
成熟期 (月.日)		7.31		
草丈(cm)	(5月20日)	19.3	22.1	△ 2.8
	(6月20日)	74.9	74.3	0.6
茎数(本/m <sup>2</sup> )	(5月20日)	605	618	△ 13
	(6月20日)	698	778	△ 80
稈長(cm)	(7月20日)		92	
穂長(cm)	(7月20日)		8.5	
穂数(本/m <sup>2</sup> )	(7月20日)		627	
子実重(kg/10a)			525	
同上平年比 (%)			100	
ブラウエル容積重(g)			830	
千粒重(g)			38.5	
品質(検査等級)			1	-

注) 平年値は前7か年中、令和3年(最豊)、令和4年(最凶)を除く5か年の平均。

3) とうもろこし (サイレージ用)

作 況 : やや良

月日	作況	事由
6月20日	やや良	播種は平年より3日早い5月14日に行った。播種後の気温は平年よりやや高く推移し、出芽は平年より9日早かった。その後もやや高温で経過し、6月20日現在の草丈は平年より19cm高く、葉数は1.1枚多かった。 以上のことから、目下の作況は「やや良」である。

生育データ

調査項目		KD320		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.14	5.17	△ 3
出芽期	(月.日)	5.27	6.05	△ 9
開花期	(月.日)		7.31	
抽糸期	(月.日)		7.31	
収穫期	(月.日)		9.23	
収穫時の熟度			黄熟初期～ 黄熟中期	-
草丈 (cm)	(6月20日)	49	30	19
	(7月20日)		186	
	(8月20日)		279	
稈長 (cm)	(9月20日)		247	
葉数 (枚)	(6月20日)	5.8	4.7	1.1
	(7月20日)		12.5	
	(8月20日)		15.3	
生総重 (kg/10a)			6278	
乾物茎葉重 (kg/10a)			929	
乾物雌穂重 (kg/10a)			1083	
乾物総量 (kg/10a)			2012	
同上平年比 (%)			100	
推定TDN収量 (kg/10a)			1461	
同上平年比 (%)			100	
総体の乾物率 (%)			32.6	
乾雌穂重割合 (%)			54.0	
有効雌穂割合 (%)			100	

注1) 平年値は前7か年中、令和元年 (最凶) および令和3年 (最豊) を除く5か年の平均。

注2) 推定TDN収量 = 乾物茎葉重 × 0.582 + 乾物雌穂重 × 0.850。

注3) 乾物収量や割合に関する一部の項目は、小数点以下の四捨五入などの計算方法により、表中の数値をもとに計算しても一致しない場合がある。

## 4) 大豆

作 況：平年並

月日	作況	事由
6月20日	平年並	播種は平年並の5月20日に行った。播種後はやや高温で経過したため、出芽期は平年より1日早い6月3日であった。出芽後の生育は順調に進み、主茎長、本葉数はともに平年並である。 以上により、目下の作況は「平年並」である。

## 生育データ

品種名		ユキホマレ		
調査項目		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.20	5.20	0
出芽期	(月.日)	6.03	6.04	△ 1
開花始	(月.日)		7.16	
成熟期	(月.日)		9.21	
主茎長 (cm)	(6月20日)	11.5	10.5	1.0
	(7月20日)		50.4	
	(8月20日)		64.2	
	(9月20日)		65.2	
	(成熟期)		64.8	
本葉 数(枚)	(6月20日)	1.5	1.4	0.1
	(7月20日)		7.5	
主茎節数	(8月20日)		10.1	
	(9月20日)		10.1	
	(成熟期)		10.1	
分枝数 (本/株)	(7月20日)		4.7	
	(8月20日)		5.7	
	(9月20日)		5.2	
	(成熟期)		5.1	
着莢数 (個/株)	(8月20日)		86.9	
	(9月20日)		82.6	
	(成熟期)		80.7	
一莢内粒数			1.85	
子実重(kg/10a)			397	
同上平年比 (%)			100	
百粒重 (g)			34.3	
屑粒率 (%)			1.5	
品質 (検査等級)			2中	—

注1) 平年値は前7か年中、令和3年(最凶)、令和7年(最豊)を除く5か年の平均。

2) 8月の着莢数は、莢の長さが2cm以上のものを示す。

3) 子実重は水分15%換算。

4) 品質(検査等級)は造りによる検査である。

## 5) 小豆

作 況：平年並

月日	作況	事由
6月20日	平年並	播種は平年より1日早い5月20日に行った。播種後はやや高温で経過したため、出芽期は平年より4日早い6月5日であった。出芽後の生育は順調に進み、主茎長、本葉数はともに平年並である。 以上により、目下の作況は「平年並」である。

## 生育データ

調査項目	エリモシヨウズ			きたろまん			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期 (月.日)	5.20	5.21	△ 1	5.20	5.21	△ 1	
出芽期 (月.日)	6.05	6.09	△ 4	6.05	6.09	△ 4	
開花始 (月.日)		7.23			7.22		
成熟期 (月.日)		9.22			9.20		
主茎長 (cm)	(6月20日)	4.1	3.6	0.5	4.4	3.5	0.9
	(7月20日)		18.5			18.1	
	(8月20日)		67.3			70.6	
	(9月20日)		72.8			76.4	
	(成熟期)		72.0			75.2	
本葉数 (枚)	(6月20日)	0.9	0.5	0.4	0.9	0.5	0.4
	(7月20日)		7.2			7.0	
主茎節数	(8月20日)		14.3			13.8	
	(9月20日)		14.7			13.8	
	(成熟期)		14.8			14.0	
分枝数 (本/株)	(7月20日)		3.1			2.6	
	(8月20日)		4.5			3.4	
	(9月20日)		4.3			3.2	
	(成熟期)		4.3			3.3	
着莢数 (個/株)	(8月20日)		51.8			51.2	
	(9月20日)		56.3			53.4	
	(成熟期)		57.2			55.5	
一莢内粒数		6.31			6.17		
子実重(kg/10a)		394			397		
同上平年比 (%)		100			100		
百粒重 (g)		14.2			16.3		
屑粒率 (%)		7.5			6.1		
品質 (検査等級)		4上	—		4上	—	

注1) 平年値は前7か年中、令和5年(最凶)、令和7年(最豊)を除く5か年の平均。

2) 8月の着莢数は、莢の長さが3cm以上のものを示す。

3) 子実重は水分15%換算。

4) 品質(検査等級)は素俵による検査である。

## 6) 菜豆

作 況：平年並

月日	作況	事由
6月20日	平年並	播種は平年より1日早い5月20日に行った。播種後はやや高温で経過したため、出芽期は平年より1日早い6月3日であった。出芽後の生育は順調に進み、草丈、本葉数はともに平年並である。 以上により、目下の作況は「平年並」である。

## 生育データ

調査項目	大正金時			
	本年	平年	比較	
播種期 (月.日)	5.20	5.21	△ 1	
出芽期 (月.日)	6.03	6.04	△ 1	
開花始 (月.日)		7.05		
成熟期 (月.日)		8.24		
草丈 (cm)	(6月20日)	10.5	10.7	△ 0.2
	(7月20日)		41.3	
	(8月20日)		41.3	
	(成熟期)		41.6	
本葉数 (枚)	(6月20日)	1.7	1.5	0.2
	(7月20日)		3.3	
主茎節数	(8月20日)		5.2	
	(成熟期)		5.3	
分枝数 (本/株)	(7月20日)		5.3	
	(8月20日)		5.4	
	(成熟期)		5.5	
着莢数 (個/株)	(8月20日)		21.7	
	(成熟期)		21.2	
一莢内粒数		2.78		
子実重 (kg/10a)		286		
同上平年比 (%)		100		
百粒重 (g)		59.1		
屑粒率 (%)		17.0		
品質 (検査等級)		4上	—	

注1) 平年値は前7か年中、令和3年(最凶)、令和4年(最豊)を除く5か年の平均。

2) 子実重は水分15%換算。

3) 品質(検査等級)は素俵による検査である。

7) ばれいしょ 作 況：平年並

月日	作況	事由
6月20日	平年並	<p>植え付けは平年並の5月11日に行った。植え付け後の平均気温は変動があったものの概ね平年並であったため、萌芽期は平年並であった。萌芽後の6月上旬～中旬は平均気温が高く、降水量および日照時間は平年並から多く推移したため両品種とも茎長はやや長かった。一方、昨年の高温の影響で植え付け時に種いもの生理的齢が進行した状態であったことから、特に「男爵薯」では細い茎が例年よりも多かった。</p> <p>以上のことから、目下の作況は「平年並」である。</p>

生育データ

調査項目		男爵薯			コナヒメ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
植付期	(月.日)	5.11	5.11	0	5.11	5.11	0
萌芽期	(月.日)	5.28	5.28	0	5.30	5.30	0
開花始	(月.日)						
枯ちよう期	(月.日)						
茎長(cm)	(6月20日)	28	24	4	22	15	7
	(7月20日)						
	(8月20日)						
茎数(本/株)	(6月20日)	5.3	4.2	1.1	3.0	3.2	△0.2
	(7月20日)						
上いも重(kg/10a)	(8月20日)						
	(9月20日)						
でん粉価(%)	(8月20日)						
	(9月20日)						
でん粉重(kg/10a)	(9月20日)						
上いも数(個/株)							
上いも平均重(g)							
上いも重(kg/10a)							
同上平年比(%)							
でん粉価(%)							
でん粉重(kg/10a)							
同上平年比(%)							

注) 平年値は前7か年中、令和2年(最凶)、令和7年(最豊)を除く5か年の平均

8) てんさい

作 況：やや良

月日	作況	事由
5月20日	平年並	移植苗の播種は、平年並の3月23日に行った。育苗中の生育は良好であった。移植は平年より3日遅い5月7日に行った。移植前後の降水量が多く土壌は湿潤で、苗の活着は良好であった。その後、5月中旬の気温は平年よりやや低かったが、草丈、生葉数、茎葉重は平年と同程度で、生育の遅れは見られなかった。 以上のことから、目下の作況は平年並である。
6月20日	やや良	直播栽培の播種は平年並の5月7日に行い、出芽期は平年より2日遅い5月18日であった。5月下旬から6月中旬にかけて気温は平年より高く、また降水量は5月下旬に少なかつた以外は十分にあった。生葉数は平年と同程度であったものの、移植および直播栽培の草丈や茎葉重、移植栽培の根重は平年を上回った。 以上のことから、目下の作況はやや良である。

生育データ

調査項目	移植						直播			
	ライエン			アマホマレ			ライエン			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期 (月.日)	3.23	3.24	△ 1	3.23	3.24	△ 1	5.07	5.06	1	
移植期 (月.日)	5.07	5.04	3	5.07	5.04	3	-	-	-	
出芽期 (月.日)	-	-	-	-	-	-	5.18	5.16	2	
収穫期 (月.日)		10.19			10.19			10.19		
草丈 (cm)	(5月20日)	6.0	6.7	△ 0.7	5.4	6.9	△ 1.5	-	-	-
	(6月20日)	26.9	21.3	5.6	29.3	23.0	6.3	20.0	16.7	3.3
	(7月20日)		51.6			54.8			51.8	
	(8月20日)		57.2			63.3			60.3	
	(9月20日)		57.8			66.8			62.7	
生葉数 (枚)	(5月20日)	5.3	6.3	△ 1.0	4.2	5.1	△ 0.9	-	-	-
	(6月20日)	13.5	13.3	0.2	12.6	11.9	0.7	10.8	9.6	1.2
	(7月20日)		22.4			21.8			21.6	
	(8月20日)		28.6			26.7			27.0	
	(9月20日)		31.0			27.6			28.6	
茎葉重 (g/個体)	(5月20日)	1.1	1.2	△ 0.1	0.9	1.1	△ 0.2			-
	(6月20日)	85	55	30	86	56	30	33	26	7
	(7月20日)		477			535			459	
	(8月20日)		808			894			780	
	(9月20日)		759			894			777	
根重 (g/個体)	(6月20日)	18	14	4	18	14	4	3	2.7	0
	(7月20日)		279			279			206	
	(8月20日)		761			760			647	
	(9月20日)		1033			1030			935	
根周 (cm)	(7月20日)		23.6			23.1			21.5	
	(8月20日)		34.0			32.5			32.2	
	(9月20日)		38.6			37.1			37.1	
根中糖分 (%)	(9月20日)		16.27			16.16			16.50	
茎葉重 (kg/10a)	(収穫期)		5773			6173			5716	
根重 (kg/10a)	(収穫期)		7982			7073			7091	
同上平年比 (%)			100			100			100	
根中糖分 (%)	(収穫期)		17.42			17.90			17.86	
同上平年比 (%)			100			100			100	
糖量 (kg/10a)	(収穫期)		1388			1265			1264	
同上平年比 (%)			100			100			100	

注1) 平年値は前7か年中、令和3年（最豊）令和5年（最凶）を除く5か年の平均。

## 9) 牧草 (チモシー)

作 況 : やや良

月日	作況	事由
5月20日	やや良	萌芽期は平年より16日早い3月31日で、冬損は認められなかった。萌芽後の気温は4月下旬以降平年並からやや低く、降水量は平年より少なく推移したものの、萌芽が早かったため5月20日現在の草丈は平年より10cm高い54cmであり、被度は100%であった。以上のことから、目下の作況は「やや良」である。
6月20日	良	1番草の収穫は平年より3日早い6月12日であった。5月下旬から6月上旬にかけ平均気温がやや高く、1番草の出穂始および出穂期は6月5日および6月10日でいずれも平年より4日早かった。刈取時の草丈は平年と同程度であったが、乾物収量は平年比130%であった。以上のことから、目下の作況は「良」である。

## 生育データ

品種名		なつちから		
調査項目		本年	平年	比較
萌芽期	(月. 日)	3. 31	4. 16	△ 16
冬損程度		1. 0	1. 0	0
被度 (%)	(5月20日)	100	100	0
	2番草再生時		100	
出穂始	(月. 日)	6. 05	6. 09	△ 4
出穂期	(月. 日)	6. 10	6. 14	△ 4
出穂程度	1番草	7. 3	7. 2	0
節間伸長程度	2番草		3. 9	
収穫日 (月. 日)	1番草	6. 12	6. 15	△ 3
	2番草		8. 04	
	3番草		10. 03	
倒伏程度	1番草		1. 0	
病害罹病程度	1番草		1. 0	
	2番草		2. 0	
	3番草		2. 7	
草丈 (cm)	(5月20日)	54	44	10
	(6月5日)	88	74	14
	1番草	99	97	2
	2番草再生時		34	
	2番草		57	
	3番草再生時		39	
生草収量 (kg/10a)	3番草		43	
	1番草	2, 803	2, 293	510
	2番草		713	
	1+2番草計		3, 006	
	合 計		3, 522	
乾物率 (%)	1番草	25. 0	23. 6	1. 4
	2番草		28. 3	
	3番草		29. 9	
乾物収量 (kg/10a)	1番草	700	538	162
	同上平年比 (%)	130	100	30
	2番草		197	
	同上平年比 (%)		100	
	1+2番草計		735	
	同上平年比 (%)		100	
	3番草		153	
	同上平年比 (%)		100	
合 計		888		
同上平年比 (%)		100		

注1) 平年値は前7か年のうち令和5年(最凶)、令和6年(最豊)を除いた前5か年の平均。

注2) 冬損程度、倒伏程度および病害罹病程度は1:無または微~9:甚。病害は主に斑点病。

注3) 出穂程度および節間伸長程度は1:無~9:極多。

令和8年度 北見農試 定期作況報告

2. 耕種概要

付表1 各作物の耕種概要

作物名	一区面積 (㎡)	反復	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	一株 本数	播種粒数 (粒/㎡)	播種量 (kg/10a)	株数 (株/10a)
1. 秋まき小麦	5.4	4	ひまわり	20	ドリル	—	255	—	—
2. 春まき小麦	6.0	4	てんさい	30	条播	—	340	—	—
3. とうもろこし	11.2	3	緑肥えん麦	75	17.8	1	—	—	7,491
4. 大豆	9.6	3	緑肥とうもろこし	60	20	2	—	—	8,333
5. 小豆	9.6	3	緑肥とうもろこし	60	20	2	—	—	8,333
6. 菜豆	9.6	3	緑肥とうもろこし	60	20	2	—	—	8,333
7. ばれいしょ	37.8	3	緑肥えん麦	75	30	1	—	—	4,444
8. てんさい	39.6	3	緑肥えん麦	60	23.8	1	—	—	7,003
9. 牧草 (チモシー)	2.7	4	緑肥えん麦	30	条播	—	—	2.0	—

付表2 各作物の耕種概要

作物名	施肥量 (kg/10a)						備考
	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	MgO	堆肥	その他	
1. 秋まき小麦	5.6	17.5	7.0	3.5	—	起生期追肥 N : 5.0	2年目草地 年間3回分施
2. 春まき小麦	10.0	18.0	12.0	5.0	—	炭カル : 150	
3. とうもろこし	14.0	22.0	12.0	4.0	3,000		
4. 大豆	1.8	15.0	7.8	3.0	—		
5. 小豆	4.0	20.0	11.2	4.0	—		
6. 菜豆	4.0	20.0	11.2	4.0	—		
7. ばれいしょ	8.0	20.0	14.0	5.0	—		
8. てんさい	15.0	30.0	12.3	6.8	—		
9. 牧草 (チモシー)	15.0	15.0	15.0	3.0	—	〔 造成時 炭カル : 200 ダブリン : 30 〕	